



在宅で迎える天寿を

地域ぐるみの療養を支える

2012年は団塊の世代の推計を厚生労働省が示している。病院や介護施設、は「包括ケアシステム」として自宅で見守ることが示している。24時間の切れ目ない見守りと居場所の提供が基本となる。人口約1万人規模の地域を一つの

このまま現状を放置すれば、2030年までに約47万人が「死に場所」を失う。2013年はそれ

単位として、医療、介護、福祉として行政などのあらゆる資源が連携、協働しチームとなって展開していくことを目指す。

その中核となるのが「新生在宅医療」である。かかりつけ医が市町村や都市医師会のサポートのもと在宅

「無神経」であることは確かだ。配慮の足りない言動は人を傷つけやすい。だが、それを非難するだけではいけない気がする。

無神経

「自分ならば」という流れの中で

麻生発言

「長寿から天寿へ」

「天寿」の意味を考えたい

「長寿から天寿へ」

〒950-1189 新潟市西区善久772-2
新潟日報社編集局「窓」係
ファクス 025(378)9405
メール mado@niigata-nippo.co.jp

麻生氏発言適性に疑問符

望まぬ延命に尊厳考える